



2022年5月9日

各 位

上場会社名 井村屋グループ株式会社
代表者名 代表取締役社長 中島 伸子
(コード番号 2209 東証プライム・名証プレミア)
問合せ先 専務取締役ファイナンス室長 富永 治郎
(TEL 059-234-2146)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年5月10日に公表いたしました2022年3月期の連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2022年3月期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 41,000	百万円 1,170	百万円 1,280	百万円 820	円 銭 62.67
今回修正予想 (B)	42,151	1,704	2,075	1,473	112.59
増減額 (B-A)	1,151	534	795	653	
増減率 (%)	2.8	45.6	62.1	79.6	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	42,152	753	921	657	50.23

2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しており、(ご参考)前期実績の売上高は当該基準適用前の実績値を記載しております。当連結会計年度の売上高を従来の会計基準と比較すると売上高は45,466百万円となり、前期より7.9%増加しております。

2. 修正の理由

2022年3月期の連結業績につきましては、売上面では冷菓の主力商品「あずきバー」シリーズが年間売上本数3億本を達成し、好調に推移するとともに、米国でアイス事業を展開しているIMURAYA USA, INC.では井村屋商品の輸入総代理店機能としての活動を強化し、売上が増加しました。食品カテゴリーの「ぜんざい」「おしるこ」も順調に推移し、売上高が計画を上回る見込みとなりました。利益面では、利益率の高い冷菓商品の売上が増加した事に加え、主原料の小豆価格が安定し、また、B to B事業の井村屋フーズ株式会社に建設した新パウチ工場の順調な稼働により、グループ全体の利益率が計画以上に向上しました。冬物商品においては付加価値の高い「肉まん・あんまん」商品の販売戦略により、売上が伸長するとともに利益改善が図られました。これらの結果、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益がそれぞれ前回発表予想を上回り、各利益が過去最高の業績となる見通しであり、連結業績予想を修正いたします。

注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により該当予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上